

● 芸劇、 変身中。

2012年9月、
東京芸術劇場
リニューアル
オープン

4号

SPRING
2012

東京・池袋にある東京芸術劇場。

昨年の4月から今年の8月まで、全面的な改修工事を行っています。

本拠地のないこの期間も芸劇は立ち止まりません。

「芸劇、変身中。」は芸劇の歩みをお知らせするフリーペーパーです。

東京芸術劇場と私

仲道郁代

私は、東京芸術劇場ができたばかりの頃から、毎年いろいろな形でお世話になっています。ロリン・マゼールさん指揮のフィルハーモニア管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第23番を弾いたり、いろいろなオーケストラと共演しました。

一昨年には、有田正広さんと古楽器によるショパンのピアノ協奏曲のCDを、芸劇で録音させていただきました。あの録音は、古楽器の魅力に目覚めるきっかけになった私にとって記念碑的作品です。録音のときは、有田さんがお持ちのショパン時代のプレイエル製ピアノを使用したのですが、私も影響されてしまって同じ時期の楽器を購入しました。芸劇がリニューアルしたあと、10月に有田さんとモーツァルトのピアノ協奏曲を演奏するのですが、このときは、私が購入したモーツァルト時代のピアノのレプリカを使う予定です。新しくなった芸劇のホールでどんな風に響くのか今から楽しみです。

芸劇のホールの響きは大好きです。芸劇の大ホール（コンサートホール）は、オルガンをどちらの向きにするかで音の感じがずいぶん変わる。私はバロックのオルガンが表に出ているときの方が好きです。ホールというのは生き物なんです。そこで奏でられる音がホールをつくるという感じで。改修後の芸劇の響きがどのように変わっていくか今から楽しみです。

芸劇は、ホールも好きですが、舞台裏に大きな窓があって外の光が入ってくるところも好きでした。エントランスの空間も広く、そのまま公園とつながっているところも開放感があ

っていいですね。雨が降っていても、池袋駅から濡れないで行くことができるのも魅力です。

芸劇は、演奏するだけではなくて、お客さんとして中ホールにお芝居を観に行きます。コンサートだけでなく、お芝居もやっているホールは全国でも珍しいですよ。1つのジャンルではなくて、いろいろな人が集う場になって、相互の交流ができれば素敵だと思います。たとえば、大ホールではコンサート形式のオペラを上演しているときに、中ホール（プレイハウス）で同じ題材の芝居をやっていて、小ホールで子供たちを集めてオペラの登場人物に関する絵本館をやっているとか、音楽と演劇のコラボレーションができれば面白いでしょうね。芸劇は、それができる全国でも稀な劇場です。ジャンルを問わず、新しい世界と可能性を探しに、ぜひ劇場に出かけてみていただきたいと思います。きっと、ふだんの暮らしのなかでは気が付かないキラキラに出会えるはずですから。（談）

[取材・構成]佐伯茂樹



なかみち・いくよ

ピアニスト。桐朋学園大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位を受賞。1987年に日本で本格的にデビューし、これまでに国内主要オーケストラおよび、海外のオーケストラと数多く共演。デビュー25周年を迎えるこの1年は、ベートーヴェンの作品を各地で演奏している。地域の活性化と音楽と社会の結びつきについての活動も積極的に行っている。

Photo: Kiyotaka Saito

改修レポート

どうなるの芸劇 パイプオルガン編

東京芸術劇場コンサートホール(大ホール)のシンボリックな存在。それはパイプオルガンです。

この楽器の仕組みをご存知でしょうか？

オルガンは、パイプに風を送って音を鳴らす楽器です。そのため①風を送るふいご②音が鳴るパイプ③音を選ぶ鍵盤の3つが揃って1つの楽器となります。

それぞれのオルガンは、建物の大きさや持ち主の意図に合わせて作られるため、どれをとっても世界にひとつ、オンリーワンの楽器です。

芸劇のパイプオルガンはおよそ9000本のパイプから成ります。優れた演奏を実現するためには、それぞれがきちんと音を鳴らし、数多くの部品が連動しなければなりません。

設置から20年。これまでも定期的なメンテナンスを行ってきましたが、楽器を制御している電気部品の交換や普段手の届かないパイプの清掃など、大規模な分解・点検・清掃＝オーバーホールを、建物の改修工事と並行して行うことになりました。

芸劇のオルガン担当がその一部をレポートします。

◆はじめに

コンサートホール正面に約10メートルの高さでそびえるこのパイプオルガンは、伝統的な面とホールの現代的なイメージに合わせて設計された面の2つの顔を持っています。

ひとつがルネッサンス・バロック面で、オルガンの黄金時代といわれたバッハの作品などの演奏に適した2つの様式。

もう一方のモダン面は、フランス古典やオーケストラとの共演に適した様式に設計されています。1台でこれだけ弾き分けられることのできるオルガンは、世界広しといえどなかなか見ることができません。

▼細部を入念に確認するボリス・ガルニエさん

このオルガンの製作者、マルク・ガルニエさんは、あるアイデアでこのことを実現させました。

それが、「回転」です！

楽器が180度回転し、2つの面にパイプを振り分けることによって、様々な時代の様式を1台で演奏することを可能にしたのです。世界からも「回転するオルガン」として大きく注目され、これまでたくさんの方に愛されてきました。

そのオルガンも昨年3月31日、改修前最終日のコンサートを最後に、しばらく皆さんとお別れとなりました。



オルガン下の回転盤

◆モダン面のパイプ取外し作業

今回のオーバーホールでは、パイプの清掃などはもちろんのこと、時代と共に高度になっていく演奏にも耐えられるよう構造も一部見直されています。

オルガンの中はとて複雑で、一寸の無駄なスペースもありません。内部には鍵盤とパイプを繋ぐ部品が、床下には電源ケーブルなどがぎっしりと詰まっています。

限られたスペースにどう部品を入れて機能アップをはかるか、技術者とオルガニストが話し合いながら新しい設計を検討していきます。

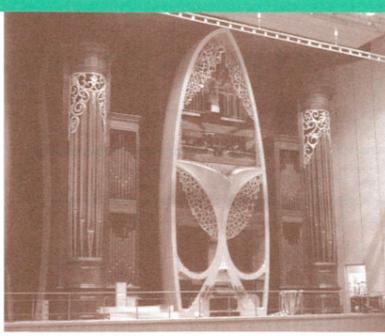
解体前にまず行われた作業は、オルガン内部の寸法や音の計測など。オーバーホール前の状態を細部にわたって入念に調査します。また、図面と膨大な各部品とが照合できるよう、ナンバーがふられていきます。(写真A・B)

耐震補強のための留金と吊糸を外して、いよいよパイプの取

世界でも稀な2面の顔をもち回転するパイプオルガン



大きな木管パイプを2名で降ろす様子



パイプが外されたモダン面(中央)。モダン面とバロック面が同時に見えている姿は珍しいのでは。



【左】取外したパイプや部品を劇場地下のリハーサル室に運んだ時の様子。オーケストラの練習ができるような大きな部屋がオルガンの部品でいっぱい。これでもまだ全体の6分の1...考えただけでも、すごい量。【右】機器がコンパクトになりがらなくなった制御盤の前に立つ製作者のマルク・ガルニエさんと、改修前からメンテナンスを担当し、全ての作業現場に立ち会うマチュー・ガルニエさん親子。

外し作業スタート！

設計の大幅な見直しが入るモダン面のセンタータワー分を先に、ガルニエの工房に移動することになりました。

こんなに大きな楽器にも関わらず取外し作業は、ほぼ2名で進められました。技術者のボリス・ガルニエさんによると、3名以上での作業はかえって効率が悪いとのこと。どんなに大きなオルガンでもペアで作業ができるよう設計するのだとか。

◆電気部品の入替えと回転盤のメンテナンス

オルガンのステージ脇には、電気制御盤という回転盤の動きを統括している操作盤があります。実はオルガンの起動スイッチも、ここにあるのです。

パイプに風を送るためのモーター、鍵盤からの指示をパイプに伝えるために力を補助するモーター、何十トンもあるオルガンに乗った回転盤を動かすモーターなど、全てこの制御盤で管理されています。

これらの電気部品は、これまで海外製を使用してきましたが、日本製に交換することでより日常的なメンテナンスがしやすくなります。

新しい制御盤の中に納められる機器が占める割合は、この20年の技術の進歩により半分くらいに減っていました！

オーバーホールはまだ続きます。次のレポートをご期待ください。

活動レポート

レポート1 東京芸術劇場Presents クラシカル・プレーヤーズ東京 演奏会

2012年2月11日(土) @東京文化会館小ホール

出演 | 有田正広(指揮、フルート)、大野雄太(ホルン)、弓新(ヴァイオリン)、満江菜穂子(クラリネット)、クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用、リーダー:戸田薫)

芸劇の定番企画となりましたオリジナル楽器オケの名門、クラシカル・プレイヤーズ東京(CPT)の公演を、上野の東京文化会館で行い、満員のお客様にオリジナル楽器の響きをお楽しみいただきました。CPTメンバーとともに、20歳の新星・弓新が若々しくも堂々とした演奏を披露しました。



レポート2 『THE BEE』English Version ワールドツアー

ニューヨーク公演 | 2012年1月5日(木)～15日(日) @ジャパンソサエティ

ロンドン公演 | 1月24日(火)～2月11日(土) @ソーホーシアター

香港公演 | 2月17日(金)～19日(日) @香港文化中心 劇場

東京公演 | 2月24日(金)～3月11日(日) @水天宮ピット 大スタジオ

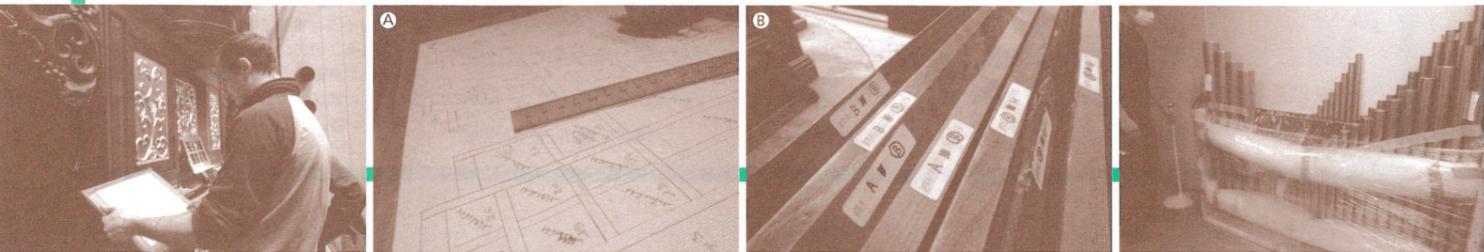
東京公演出演者 | キャサリン・ハンター、グリーン・ブリチャード、マルチェロ・マーニ、野田秀樹



ニューヨーク公演より Photo by Michael Desiel

当館芸術監督 野田秀樹にとっても、芸劇にとっても初めてのワールドツアー。初演時に日本の演劇賞を総なめにした『THE BEE』だけあって、海外でもニューヨーク・タイムズやロンドンのガーディアン紙をはじめとする主要紙で激賞されました。「各地で客席の反応が違うのが面白い」と、野田自身も手ごたえを感じたよう。最終公演地東京では連日満員のお客様に支えられて全公演終了することができました。今後も芸劇と海外とのつながりにご注目ください。

『THE BEE』Japanese Version
2012年4月25日(水)～5月20日(日) [会場] 水天宮ピット
◆全公演、当日券を販売いたします。詳しくは劇場HPをご覧ください。



東京芸術劇場 コンサートホール

必聴のリニューアル記念公演ラインナップ



2012.09-2013.03 コンサート カレンダー

リニューアル記念演奏会

読売日本交響楽団 マーラー交響曲 第2番「復活」

2012年9月1日(土) 15:00開演
指揮:下野竜也 ソプラノ:小川里美 メゾソプラノ:清水華澄
管弦楽:読売日本交響楽団 合唱:東京音楽大学
[曲目]マーラー/交響曲 第2番「復活」
◆全席指定…S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
C席3,000円 D席2,000円
◆チケット発売…2012年4月24日(火)

リニューアル記念演奏会

E.インバル&東京都交響楽団 新マーラー・ツィクルス

東京芸術劇場リニューアル記念公演
2012年9月15日(土) 14:00開演
ピアノ:上原彩子
[曲目]ベートーヴェン/ピアノ協奏曲 第2番
マーラー/交響曲 第1番「巨人」
◆全席指定…S席6,500円 A席5,500円 B席4,000円
C席3,000円 D席2,000円
◆チケット発売…2012年4月10日(火)

東京都交響楽団「作曲家の肖像シリーズ」

2012年9月29日(土) 14:00開演
ソプラノ:澤畑恵美 メゾソプラノ:竹本節子 合唱:二期会合唱団
[曲目]マーラー/交響曲 第2番「復活」
◆全席指定…S席7,500円 A席6,500円 B席5,500円
C席4,500円 Ex席2,800円 ※S~C席:完売
◆チケット発売…2012年4月14日(土)

東京都交響楽団「作曲家の肖像シリーズ」

2012年10月28日(日) 14:00開演
メゾソプラノ:池田香織 女声合唱:二期会合唱団
児童合唱:東京少年少女合唱隊
[曲目]マーラー/交響曲 第3番
◆全席指定…S席7,500円 A席6,500円 B席5,500円
C席4,500円 Ex席2,800円 ※S~C席:完売
◆チケット発売…2012年7月7日(土)

東京都交響楽団「作曲家の肖像シリーズ」

2012年11月3日(土・祝) 14:00開演
バリトン:河野克典 ソプラノ:森麻季
[曲目]マーラー/少年の不思議な角笛、交響曲 第4番
◆全席指定…S席6,800円 A席5,800円 B席4,800円
C席3,800円 Ex席2,300円 ※S~C席:完売
◆チケット発売…2012年7月7日(土)

東京芸術劇場リニューアル記念公演

2013年1月20日(日) 14:00開演
[曲目]マーラー/交響曲 第5番 ほか
◆全席指定…S席6,500円 A席5,500円 B席4,000円
C席3,000円 D席2,000円
◆チケット発売…2012年9月発売予定

リニューアル記念演奏会

G.ロジェストヴェンスキー& 読売日本交響楽団 チャイコフスキー 後期交響曲ツクルス

※本公演は東京文化発信プロジェクト事業です。
2012年10月6日(土) 15:00開演
ピアノ:ヴィクトリア・ポストニコワ
[曲目]チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番
交響曲 第4番

2012年10月7日(日) 15:00開演

ヴァイオリン:サーシャ・ロジェストヴェンスキー
[曲目]チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲
交響曲 第5番

2012年10月8日(月・祝) 15:00開演

[曲目]チャイコフスキー/交響曲 第6番「悲愴」
ほか

リニューアル記念演奏会

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

2012年10月19日(金) 19:00開演
指揮:有田正広 フォルテピアノ:仲道都代
管弦楽:クラシカル・プレイヤーズ東京
[曲目]モーツァルト/交響曲 第25番
ピアノ協奏曲 第20番
ビゼー/交響曲
◆全席指定…S席4,000円 A席3,000円
B席2,000円
※共同開催公演:2012年10月21日(日) 山形テルサ

東京芸術劇場 Presents

プラスウィーク 2012 第112回定期演奏会

2012年10月15日(月) 19:00開演
指揮:ポール・メイユ
吹奏楽:東京佼成ウインドオーケストラ

宮川彬良&大阪市音楽団

2012年10月16日(火) 19:00開演
作編曲・指揮:ピアノ:宮川彬良
吹奏楽:大阪市音楽団

第3回 音楽大学オーケストラ・ フェスティバル 2012

2012年11月24日(土) 15:00開演
武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学
2012年12月5日(水) 18:30開演
桐朋学園大学、東京音楽大学
2012年12月8日(土) 15:00開演
東邦音楽大学、国立音楽大学
◆各公演…全席指定 1,000円

E.P.サロネン& フィルハーモニア管弦楽団 演奏会

2013年2月10日(日)
指揮:エサ=ベッカ・サロネン
ヴァイオリン:諏訪内晶子
管弦楽:フィルハーモニア管弦楽団

シアターオペラ vol.6

ビゼー/歌劇「カルメン」

2013年2月17日(日) 15:00開演
指揮:井上道義 演出:茂山あきら
出演:カルメン/ミリアーナ・ニコリッチ
ドン・ホセ/ロザリオ・スピナ
エスカミリーヨ/ダニエル・スメギ ほか
管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

0才から聴こう!! 「春休みふれあいコンサート」

2013年3月27日(水)
指揮:梅田俊明 ナビゲーター:中井美穂
ソプラノ:森美代子 管弦楽:読売日本交響楽団
[曲目]モーツァルト/歌劇「魔笛」より 夜の女王の Aria
「復讐の炎は地獄のように」
ホルスト/組曲「惑星」より
「木星(ジュピター)」 ほか
◆全席指定…S席3,500円 A席2,500円
こども(小学生まで)1,000円

第2回 音楽大学フェスティバル・ オーケストラ 演奏会

2013年3月30日(土) 15:00開演
指揮:秋山和慶
管弦楽:音楽大学フェスティバル・オーケストラ
参加音楽大学:国立音楽大学、昭和音楽大学、
洗足学園音楽大学、東京音楽大学、
東京藝術大学、東邦音楽大学、
桐朋学園大学、武蔵野音楽大学
◆全席指定…S席2,000円 A席1,500円

オルガン・コンサート

2013年3月31日(日) 14:00開演

[チケット取扱い] 東京芸術劇場 <http://www.geigeki.jp/>
※劇場改修休館中はwebのみの取り扱いとなります。

- ◆未就学児の入場はご遠慮ください。
- ◆都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。
- ◆詳細はHPをご覧ください。

[主催] 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

[企画制作] 東京芸術劇場

[お問合せ] 東京芸術劇場 リニューアル準備室 事業企画課(音楽制作) ☎03-5391-2114

[会場] 東京芸術劇場 コンサートホール

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 (JR・私鉄・東京メトロ池袋駅西口徒歩2分)

施設の貸出が始まっています。

リニューアルオープン後のホールをはじめとした施設の貸出について順次受付を開始しています。
劇場HPでお知らせしているほか、東京芸術劇場リニューアル準備室ではお電話でのお問い合わせを承ります。
[お問合せ] 東京芸術劇場リニューアル準備室 ☎03-5391-2111(平日9:00~17:45)

〈現在受付中の施設〉

コンサートホール(大ホール)、プレイハウス(中ホール)、
シアターウエスト(小ホール2)、ギャラリー1(展示ギャラリー1)、
ギャラリー2(展示ギャラリー2)、アトリエウエスト(展示室1)、
アトリエウエスト(展示室2)

WEBチケット会員(芸劇メンバーズ)を募集しています。

芸劇メンバーズへのご登録(無料)で、チケット発売や公演案内をはじめとするお得な情報をメルマガで受取れます。
会員限定の先行販売も予定しております。この機会にぜひご登録ください。
詳しくは劇場HP(<http://www.geigeki.jp/>)またはお電話(03-5391-3010)でお問い合わせください。